



愛媛県防災士養成講座の開催について

上島町では、防災士の養成に努めています。防災士とは、防災に対する意識、知識、技能を兼ね備えた人に認証される資格です。受講を希望される方は、消防本部消防防災課までご連絡ください。なお、資格取得には、資格試験の合格と普通救命講習の受講が必要となります。

○開催日時
12月17日(土) 9時00分～16時50分
12月18日(日) 9時00分～17時40分
※2日間とも受講が必要です。

○開催場所
今治市総合福祉センター
今治市南宝来町1-9-18
※現地まで送迎可能です。

○対象者
上島町
在住の方

○募集期限
10月27日(木)

○費用
受講料の助成有り

○問い合わせ
消防本部 消防防災課

☎77-3166



消防団夏季幹部講習会



令和4年7月3日(日)弓削港物揚げ場において、消防団夏季幹部講習会が実施されました。この講習会では、消防団幹部の指揮能力向上及び新規団員(3年未満)の基本動作習得を目的に行われました。



▲訓練礼式の様子

令和4年6月出動件数

地区	弓削	生名	岩城	魚島	その他	合計	R4累計
火災	0	0	0	0	0	0	1
救急	25	9	8	2	0	44	228

(令和4年6月30日現在)

上島町消防本部・消防署
消防防災課

☎77-4118
☎77-3166

第2回 幼年消防クラブ

7月の3日間で、町内の各保育所において、第2回幼年消防クラブが行われました。園児たちは消防職員から正しい花火の遊び方や、使用時の注意点についての話を真剣に聞いていました。その後、防火DVDを鑑賞し火災の恐ろしさを学びました。また、屋外では消火器の取り扱い体験を実施しました。



▲防火DVD鑑賞



▲消火器の取り扱い体験



肥料について

しまなみ
農業だより

肥料について
・肥料の三要素(NPK)
・肥料袋の表示
・施肥量の計算

農作物の成長や増収等を目的に肥料は使用されてきました。国内に流通している肥料の多くは原材料を海外から輸入しているため、最近の円安、原油価格の高騰など国際情勢の変化や流通コストの上昇により肥料価格が高騰しています。今回は、肥料の効果的な活用について考えてみました。

1 肥料の三要素(NPK)

農作物に使用されている肥料の多くは、植物の生育に必要な多量要素のチッソ(N)、リン酸(P)、カリウム(K)を配合した複合肥料、「尿素」や「ようりん」など単独成分の単肥肥料に分類できます。また、肥料原料として「菜種かす」や「魚粉」、「動物排泄物(鶏ふん等)」などの有機物を主原料とした特殊肥料と石油や鉱石から作られる化学肥料が含まれる普通肥料に分類されます。これ

2 肥料袋の表示

JAやホームセンターで販売されている肥料袋の表示について説明します。有機物を原料とした特殊肥料は成分表示の義務がなく三要素の表示がないものが多く見られます。普通肥料は成分表示が義務化され、成分量を保証するよう法律で定められています。例として写真1の肥料袋には10-7-7と数字が印字さ

表1 三要素の働き

チッソ(N)	植物の成長や果実の肥大に必要なタンパク質や葉緑素の成分である。不足すると葉色が薄く成長が鈍くなり、果実の太りが悪い。多すぎても葉色が濃くなり開花が少なくなる。
リン酸(P)	細胞の核酸など植物のエネルギー伝達に関わる元素で、幼木で不足すると生育不良となる。果実の糖度向上など果実品質に効果があるともいわれている。
カリ(K)	植物の細胞液の浸透圧やPHの調整作用など生理作用に役立っている。樹の耐病性や耐寒性を高め発根に影響するとも言われている。

らの原料を配合して作物の生育に適した肥料が製造されています。肥料に含まれる三要素の働きは表1に示すとおり、相互作用により植物の成長に利用されます。肥料の形状は、主に粒状、粉状、液体で製造されています。

3 施肥量の計算



写真1
肥料袋の表示(表)

れていますが、数字は左からチッソ、リン酸、カリウムの重量割合(%)を表します。この肥料の重量は20kg入りなので、一袋にチッソ成分は20kg×10/100=2kgが入っています。肥料銘柄の下には、形状と有機50の表記は有機原材料が50%(10kg)含まれていることを表します。裏面には、チッソの種類など詳しい情報が書いてあります。

施肥量は、例えば、カンキツの栽培層には3月上旬に有機配合3号を10a当たり4袋とわかりやすく書かれています。一般的な施肥基準は、品種や作物ごとに表2(愛媛県施肥基準)のように時期に応じて肥料成分量で標記されています。施肥基準はチッソ成分を主に計算されリン酸、カリウムは3割程度少ない量が一般的です。例外として豆類やサツマイモなどではチッソ成分を減らした肥料銘柄を使用することが多く、作物により成分構成は異なります。カンキツの施肥量は、10a当

表2 レモン(露地)

目標収量(t/10a)	施肥の種類・施肥時期	施肥成分量 kg/10a		
		N	P ₂ O ₅	K ₂ O
4	春肥(3月上旬)(萌芽直前頃)	8	6	6
	夏肥 1(5月下旬)	9	6	7
	夏肥 2(7月上旬)	8	6	6
	初秋肥(9月上旬)	8	6	6
	晩秋肥(10月下旬)	8	6	6
	施肥合計	40	30	30

たりの樹の本数が園地によりまちまちなので、1樹当たりの施肥量を算出すれば無駄がないと考えます。例えば、標準の植栽本数100本/10aとして施肥基準から1樹当たりの成分量を計算してみると10a当たりチッソ8kgの場合、8kg÷100本で8g/1樹が必要であることがわかります。1袋に10%のチッソを含む肥料を1樹に8g施肥する場合、1樹当たりの施肥量は80gとなります。園内の樹の数×80gで施肥量を計算すれば無駄のない施肥ができます。施肥の効果はすぐには現れませんが継続して行うことで健全に生育しますので、肥料を有効かつ効果的に施用し生産コストの削減を図りましょう。